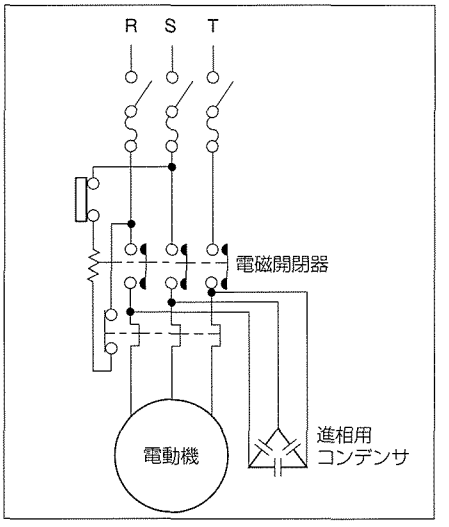
使用上のご注意

電磁接触器・開閉器の取扱いについて

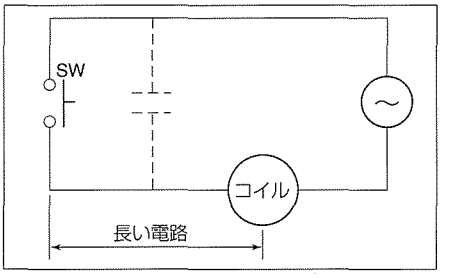
■接続端子に接続する電線は、はんだで固めないでください。接続電線をはんだ固めしたものは時間がたつとゆるみが生じ接触が不完全となるためです。
■水滴、油沫そのほか塵埃、粉塵などが直接かからないようにしてください。
■腐食性ガス、可燃性ガス、塩分などの多い場所で裸のまま使用しないでください。
■異常な振動や衝撃を受ける場所に取付けないでください。
■消弧室の排出口はふさがないでください。遮断性能を低下させることがあります。
■電磁開閉器がバタツキ動作(完全に投入しないで途中ではげしく振動する状態)をするときは継続使用しないでください。接点溶着、釈放不良などの事故になるので、原因を調査してバタツキ動作しないようにしてください。
■不要の接点を取りはずして使用しないでください。バランスが崩れて、接点寿命、性能に悪影響を及ぼすことがあるので、不要の接点でも取付けたまま遊ばせて使用してください。(このとき端子ねじも十分締付けておく事が必要です。)

■進相用のコンデンサを接続するときは電磁開閉器の一次側に接続しないでください。進相用コンデンサは電磁開閉器の二次側若しくは電動機端子側に接続してください。進相用コンデンサを電磁開閉器の一次側に接続した場合、一次側ヒューズの一相溶断などにより欠相した場合、進相用コンデンサを通るまわり回路ができてコイルに電源電圧のほぼ50～60%の電圧が印加し、バタツキの原因になります。

●進相用コンデンサの正しい入れ方



■操作回路や主回路の電線径と長さは、操作コイルの動作に支障のない抵抗値以下に押さえてください。操作電磁石の投入不完全は事故の原因になり、又特に補助電磁接触器や小形の電磁接触器では操作電線距離が長いと電線相互間の静電容量のため操作スイッチをOFFにしても釈放しない現象を生じることがあります。この場合の操作回路は直流方式をお奨めします。



サーマルリレーの取扱いについて

■サーマルリレーへの配線は適正な太さの電線を使用してください。電線が細いと動作時間が早くなり、太いと遅くなります。
■サーマルリレーの整定電流目盛は、電動機全負荷電流に設定してください。時々動作するからといって電動機全負荷電流以上の値に設定しないでください。何らかの原因があって動作するのですから、原因を調べて除去しなければ大きな事故のもとになりかねません。

■サーマルリレーに風をあてた状態で使用しないでください。サーマルリレーの動作が遅くなります。
■サーマルリレーのリセットは電源の入ったままで行わないでください。始動用押しボタンを押さない限り電動機が始動しない回路になっている場合は問題ありませんが、サーマルリレーのリセットボタンを押すと同時に電動機が始動するような自動運転回路(ポンプ、コンプレッサなど)では安全面あるいは電動機保護面で電源を切ってからリセットすることが必要です。また、リセットは動作した原因を除去してから行わなければなりません。(自動復帰の場合はご注意ください。)
■短絡事故があったときはサーマルリレーを新品と交換してください。ヒーターが溶断しているか、溶断しかかっていて動作特性が変化している可能性があります。
■調整ツマミは表示範囲以外に回さないでください。

接点の保守

接点は使用中、酸化皮膜や硫化皮膜で黒ずむ場合がありますが性能上まったく支障ありませんのでそのままご使用ください。

電磁石の接触面

接触面にゴミがついたり、サビが発生すると、うなりの原因になります。
●ゴミのついてる場合
布でふいて、手入れをしてください。
●サビのついている場合
サンドペーパーを平らな台にのせその上で、サビ面を下にして軽く平たんにみがいてください。